

シンポジウム

子どもに対する 体罰等のない社会を 目指して



Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン



子どもの健やかな
成長を支える
社会の実現に向けて

子どもも大人と同じように一人の人間として尊重されるべき存在です。たいたたり、怒鳴ったりといった体罰等*は、子どもの体や心を傷つけてしまうとともに、子どもの発達に負の影響を及ぼすことが科学的に明らかになっています。子どもに対する体罰等のない社会を実現するためには何が必要か、一緒に考えてみませんか。

*「体罰等」とは…体罰その他の残虐なまたは品位を傷つける形態の罰(2006年、国連子どもの権利委員会一般的意思8号)

日時

10月27日(土) 2018年

[受付14:30] 15:00~18:00

申込締切 10月26日(金)

参加費 無料

定員 先着 100名

※ 定員に達し次第、締め切ります

主催 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

共催 日本弁護士連合会、東北弁護士会連合会、
仙台弁護士会

後援 厚生労働省、宮城県、宮城県教育委員会、
仙台市、仙台市教育委員会

会場 仙台弁護士会館 4階大会議室
宮城県仙台市青葉区一番町2丁目9-18
TEL:022-223-1001(代表)
地下鉄東西線「青葉通一番町」駅南1番出口から徒歩5分

プログラム

基調講演

「子どもの体罰・不適切養育とその影響」

公立黒川病院小児科 岩城 利充 氏

報告

「禁止立法で体罰・虐待の予防を！」

日本弁護士連合会 相川 裕 氏

報告

「日本における子どもに対する体罰等の実態と
たたかない、怒鳴らない、ポジティブな子育て」

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 瀬角 南



このシンポジウムは、イオン株式会社のご寄付により開催いたします。

詳細とお申し込み方法は裏面へ

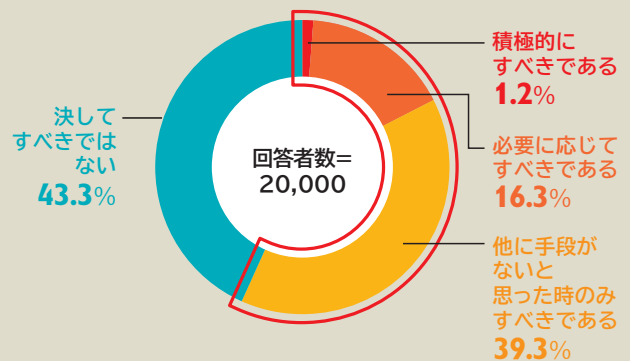
シンポジウム 子どもに対する 体罰等のない社会を 目指して

体罰等をなくすには、具体的にどうすればよいのでしょうか？

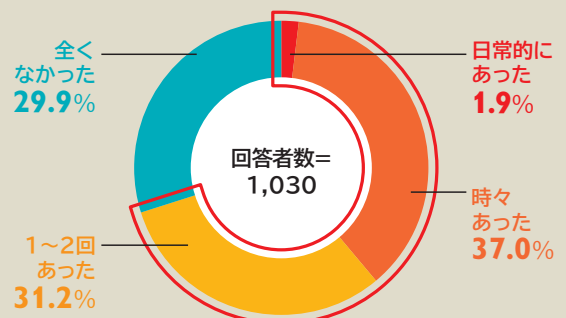
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが2017年7月に行った体罰等に対する意識・実態調査では、日本に住む大人2万人のうち6割が「しつけのために子どもをたたくこと」を容認していること、子育て中の1,030人のうち約7割が過去にしつけの一環として子どもをたたいたことがあることなどが分かりました。子どもに対する体罰等をなくすための活動や、体罰等が不要だという意識は少しずつ広がっていますが、体罰等のない社会はいまだに実現していません。

世界に目を向けると、子どもに対する体罰を法律で禁止し、体罰等によらない子育てを広めた国では、体罰の容認や行使が減少しています。日本でも、体罰等をなくすためには、市民の意識を高めること、法律による体罰等の禁止、そして子育て中の親や養育者を支援する仕組みが必要ではないでしょうか。本シンポジウムでは、体罰等が子どもに与える影響や日本の現状について、医師、弁護士、国際NGOがそれぞれの立場から、課題や今後の展望を語ります。

しつけのために、子どもに体罰をすることに
対してどのように考えますか。 (単一回答)



あなたは過去に、しつけの一環として
子どもをたたいたことがありますか。 (単一回答)



「子どもの体やこころを傷つける罰のない社会を目指して」
調査結果報告書より

登壇者プロフィール

公立黒川病院
小児科科長

岩城 利充 氏

信州大学医学部卒業。岐阜県立多治見病院未熟児センター、大崎市民病院小児科を経て現職。また虐待防止活動、東日本大震災被災地診療を行い、2012年にはNPO法人「子どもの村東北」設立に参加し、現在常務理事を務める。小児科外来では主に行動異常、発達障害の診療を行っている。

日本弁護士連合会
弁護士

相川 裕 氏

東京大学法学部卒業、1993年弁護士登録(東京弁護士会)。少年事件や学校事故、学校における懲戒処分、いじめ、児童養護施設の処遇のあり方など子どもの問題にかかわる。東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する特別委員会委員。日本弁護士連合会子どもの権利委員会委員。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国内事業部 プログラム・マネージャー

瀬角 南

2014年入局。東日本大震災復興支援事業部、国内事業部こどもの貧困問題解決事業担当を経て、2017年より同部子ども虐待の予防事業担当。日本でたたかない、怒鳴らない子育てを進めるための政策提言、社会啓発等を行っている。

お申し込み方法

■ ウェブサイトからお申し込みください。

- ・ QRコードから
- ・ または、セーブ・ザ・チルドレンウェブサイトの本イベントページから
www.savechildren.or.jp/



■ メールまたはFAXでもお申込みいただけます。

件名を「10/27シンポジウム申込」とし、以下の①～⑤をお知らせください。

- ① ご氏名
- ② お電話番号
- ③ メールアドレス
- ④ ご所属またはご職業
- ⑤ シンポジウムをどちらでお知りになりましたか？

(チラシの場合は受け取った場所もご記入ください)

japan.kosodate@savethechildren.org Fax : 03-6859-0069

お問い合わせ

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
TEL : 03-6859-6869 (平日9:00~17:00)
担当: 瀬角・西崎

個人情報の取り扱い

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでは、業務上取り扱う全ての個人情報は、個人情報保護法その他の法令並びに当団体の個人情報保護方針などに則り適正に管理します。お預かりする個人情報は、本シンポジウムへの参加可否やお申込み内容の確認のためのご連絡および、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催の今後のイベントのご案内の目的にのみ使用します。